

# 福島県内遺跡分布調査報告24

2017年10月

福島県教育委員会



## 福島県内遺跡分布調査報告24



## 序 文

福島県教育委員会は、大規模開発等から埋蔵文化財包蔵地を保護するため、開発事業が行われる以前に詳細な分布調査を実施し、関係機関と保存協議を行い、埋蔵文化財包蔵地の保存に努めております。

平成28年度は、1市2町の区域内で計画された2事業の試掘・確認調査、及び1市の区域内で計画された1事業の分布調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託して行いました。

中通り地方では、伊達市・桑折町において一般国道115号相馬福島道路建設事業に関連した16箇所の試掘・確認調査を実施しました。

会津地方では、会津若松市において会津縦貫北道路建設事業に関連した190haの分布調査、南会津郡下郷町においては一般国道289号南倉沢バイパス建設事業に関連した1箇所の試掘調査を実施しました。

試掘・確認調査の結果、存在が知られていた遺跡の範囲や内容が明らかになるとともに、これまで知られていなかった遺跡を発見することもできました。

この報告書が、埋蔵文化財の保護や地域の歴史を解明するための基礎資料となり、広く県民の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査に御協力いただいた当該市町村教育委員会や公益財団法人福島県文化振興財団をはじめ関係機関並びに関係各位に対し深く感謝の意を表します。

平成29年10月

福島県教育委員会

教育長 鈴木 淳一



## 緒 言










1. 本書は、平成28年度に実施した一般国道115号相馬福島道路、一般国道289号南倉沢バイパスの各建設予定地内に所在する遺跡及び遺跡推定地（試掘調査により遺跡の存否を確認する地点）の試掘・確認調査、及び地域高規格道路（会津縦貫北道路）の分布調査の報告書である。
2. この調査は、国庫補助を受け福島県教育委員会が実施した。
3. 福島県教育委員会は、調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託した。
4. 福島県教育委員会は、公益財団法人福島県文化振興財団が実施した調査に基づき、埋蔵文化財の取扱いを決定した。
5. 公益財団法人福島県文化振興財団は、下記の職員を配置して調査を実施した。  
専門文化財主査 丹治 篤嘉      文化財主査 近藤 宏幸
6. 本書は、福島県教育庁文化財課職員及び公益財団法人福島県文化振興財団（遺跡調査部県内遺跡分布調査担当）の職員が執筆した。
7. 調査にあたっては、地元地権者・地権者会・行政区長をはじめ下記の機関に多くの協力をいただいた。  
伊達市教育委員会 桑折町教育委員会 会津若松市教育委員会 下郷町教育委員会  
福島県土木部（会津若松建設事務所・南会津建設事務所）  
国土交通省東北地方整備局（福島河川国道事務所）
8. 事業名称が長いものについては、一部省略した表現を用いている。
9. 本書に使用した遺跡の調査記録及び出土資料は、福島県教育委員会が保管している。

## 用 例

1. 本書における用例は、次のとおりである。

- (1) 遺跡及び遺跡推定地の位置図は、国土交通省国土地理院発行縮尺1/25,000の地形図（保原・福島北部・会津広田・甲子山）を、一般国道115号相馬福島道路位置図は、同じく縮尺1/200,000の地勢図（福島）を複製したものを使用している。
- (2) トレンチ配置図は、各事業主体作製の縮尺1/1,000・1/2,000・1/2,500地形図を基とした。

2. 本書第2章における遺跡・遺跡推定地及びトレンチ配置図の用例は、次のとおりである。

- (1) : 現状保存範囲
- (2) : 未試掘範囲
- (3) : 工事などの実施にあたっては慎重工事の措置をとる必要がある範囲
- (4) : 遺跡推定地で遺構・遺物が確認されず、遺跡として取り扱わないと判断された範囲
- (5) : 遺構・遺物が確認できたトレンチ
- (6) : 遺構・遺物が確認できなかったトレンチ
- (7) : 工事予定範囲
- (8) : 周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲
- (9) : 分布調査による遺跡推定地の範囲

3. 遺跡推定地の名称は便宜上アルファベットの「B」と算用数字を組合せて表記するが、試掘調査によって遺跡であることが確定すれば所在地の字名や地名をとり、新たに遺跡名称を付している。

4. 各遺跡の呼び方は、『日本地名大辞典7福島県』（角川書店）収録の「小字一覧」にならったが、通称が定着しているときは、それに従った。

5. 遺構図の用例は、次のとおりである。

- (1) 平面図の縮尺は、基本的に各挿図版の右下（スケール右側）に記した。
- (2) 検出した遺構は、網点で表示した。
- (3) 土色の判定に際しては、『新版標準土色帖』（日本色研事業株式会社）を用いた。

6. 本書で使用した略号は、次のとおりである。

T : トレンチ	L : 遺構外堆積土	ℓ : 遺構内堆積土	
SI : 堅穴住居跡	SK : 土 坑	SD : 溝 跡	P : 小 穴
SX : 堅穴状遺構	SF : 道 跡		
DT : 伊 達 市	QR : 桑 折 町	AW : 会津若松市	CG : 下 郷 町



# 目 次

第1章 県内遺跡分布調査の概要	1	
第2章 試掘・確認調査	4	
第1節 一般国道115号相馬福島道路建設予定地	4	
(1) 伊達市の遺跡		
DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕(5)	DT-B2〔下小国荒屋敷遺跡〕(7)	DT-B23(7)
上ノ台館跡(8)	DT-B34〔上ノ台遺跡〕(10)	DT-B25(11)
DT-B29(12)	中室内遺跡(13)	DT-B30(14)
DT-B31(15)	宮本遺跡(16)	DT-B33〔荒屋敷遺跡〕(17)
(2) 桑折町の遺跡		
桑折台遺跡(19)	QR-B1〔新宿遺跡〕(21)	QR-B3〔日照田遺跡〕(22)
QR-B4〔館ノ前遺跡〕(24)		
第2節 一般国道289号南倉沢バイパス建設予定地	26	
(1) 下郷町の遺跡		
CG-B6(26)		
第3章 分布調査	27	
第1節 地域高規格道路(会津縦貫北道路)建設予定地	27	
第4章 総 括	29	
報告書抄録	37	

## 挿図・表・写真目次

### [挿 図]

第1章	
図1 県内道路分布調査位置図	1
第2章	
図2 一般国道115号相馬福島道路位置図	4
図3 伊達市の道路(1)	5
図4 DT-B21[沼ヶ入道路]トレンチ配置図	6
図5 DT-B21[沼ヶ入道路]橋出遺構・土層柱状図	7
図6 DT-B2 [下小国荒屋敷遺跡]・ DT-B23 トレンチ配置図	8
図7 上ノ台館跡 トレンチ配置図・土層柱状図。 DT-B34 [上ノ台遺跡] トレンチ配置図	9
図8 伊達市の道路(2)	10
図9 DT-B25 トレンチ配置図	11
図10 伊達市の道路(3)	11
図11 DT-B29 トレンチ配置図	12
図12 中室内遺跡 トレンチ配置図	13
図13 DT-B30 トレンチ配置図(1)	14
図14 DT-B30 トレンチ配置図(2)。 DT-B31 トレンチ配置図	15
図15 宮本遺跡 トレンチ配置図	16

図16 DT-B33トレンチ配置図・出土遺物	18
図17 DT-B33橋出遺構・土層柱状図	19
図18 桑折町の遺跡	20
図19 桑折台遺跡・QR-B1 トレンチ配置図	20
図20 QR-B1 橋出遺構・土層柱状図	22
図21 QR-B3 トレンチ配置図・出土遺物。 QR-B4 トレンチ配置図	23
図22 QR-B3 橋出遺構・土層柱状図	24
図23 QR-B4 橋出遺構・土層柱状図・出土遺物	25
図24 下郷町の遺跡	26
図25 CG-B6 トレンチ配置図	26

### 第3章

図26 会津坂貫北道路(若松北バイパス)予定路線 と遺跡・遺跡推定地	28
---------------------------------------	----

### 第4章

図27 荒屋敷遺跡の範囲	32
図28 新宿遺跡・馬場遺跡の範囲	33
図29 館ノ前遺跡・日照田遺跡の範囲	34
図30 鶴沼A遺跡の範囲	35
図31 上吉田C遺跡の範囲	36

### [表]

第1章	
表1 一般国道115号相馬福島道路試掘・確認調査 遺跡一覧	2-3
表2 一般国道289号南倉沢バイパス試掘・確認調査 遺跡一覧	2-3
第2章	
表3 DT-B21 [沼ヶ入道路] トレンチ一覧	6
表4 上ノ台館跡トレンチ一覧	9
表5 DT-B33トレンチ一覧	17
表6 QR-B1 トレンチ一覧	21
表7 QR-B3 トレンチ一覧	22
表8 QR-B4 トレンチ一覧	24

### 第3章

表9 会津坂貫北道路(若松北バイパス)関連 遺跡一覧(会津若松市)	27
--------------------------------------	----

### 第4章

表10 相馬福島道路(霊山道路)関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧(伊達市)	29
表11 相馬福島道路(霊山〜福島)関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧(伊達市・桑折町)	30
表12 一般国道289号南倉沢バイパス関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧(下郷町)	31
表13 埋蔵文化財包蔵地(新規・変更)一覧	31

### [写 真]

第2章	
1 DT-B21 32T遺構橋出状況(南東から)	5
2 上ノ台館跡 52T周辺全景(東から)	8
3 DT-B33 2T溝跡橋出状況(南西から)	17
4 DT-B33 3T全景(南西から)	17
5 QR-B1 5T遺跡断面(南西から)	21
6 QR-B3 38T土坑橋出状況(南西から)	22
7 QR-B4 18T土坑橋出状況(南から)	24

### 第3章

8 鶴沼A遺跡全景(南から)	27
9 下高野B遺跡全景(東から)	27
10 上吉田C遺跡全景(西から)	28
11 AW-B9全景(北から)	28

## 第1章 県内遺跡分布調査の概要

平成28年度は、一般国道115号相馬福島道路及び一般国道289号南倉沢バイパスの2事業（1市2町）についての試掘・確認調査、及び地域高規格道路（会津縦貫北道路）の1事業（1市）の分布調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託して実施した。

### 【一般国道115号相馬福島道路】

伊達市・桑折町における計画路線内の16箇所計92,450㎡の遺跡及び遺跡推定地を対象に試掘・確認調査を実施した。一般国道115号相馬福島道路は、相馬西道路、阿武隈東道路、阿武隈東～阿武隈、霊山道路、霊山～福島との5区間に分かれて建設が進められている。このうち、阿武隈東道路は平成21年度、阿武隈東～阿武隈は平成26年度、相馬西道路は平成27年度までに試掘・確認調査及び本発掘調査が終了している。

伊達市地内の霊山道路の区間は、DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕・DT-B2〔下小国荒屋敷遺跡〕の2箇所計8,600㎡の試掘・確認調査を実施した。その結果、DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕で遺構を確認し、4,000㎡を保存範囲とした。なお、霊山道路の区間は、平成28年度で試掘・確認調査が終了した。

伊達市地内の霊山～福島の区間では、DT-B23・上ノ台館跡・DT-B34〔上ノ台遺跡〕・DT-B25・DT-B29・中室内遺跡・DT-B30・DT-B31・宮本遺跡・DT-B33の10箇所計66,600㎡で試掘・確認調査を実施した。その結果、上ノ台館跡・DT-B33で遺構・遺物を確認した。上ノ台館跡では300㎡、DT-B33では2,400㎡の計2,700㎡を保存範囲とした。

桑折町地内の霊山～福島の区間では、桑折台遺跡・QR-B1・QR-B3・QR-B4の4箇所計17,250㎡で試掘・確認調査を実施した。その結果、QR-B1・QR-B3・QR-B4で遺構・遺物を確認した。QR-B1では1,600㎡、QR-B3では3,900㎡、QR-B4では3,600㎡の計9,100㎡を保存範囲とした。

### 【一般国道289号南倉沢バイパス】

下郷町における計画路線内の遺跡推定地であるCG-B6の4,700㎡を対象に試掘調査を実施した。その結果、保存対象外とした。これをもって、一般国道289号南倉沢バイパスの試掘・確認調査はすべて終了した。

### 【分布調査】

平成28年度の分布調査は、会津若松市の会津縦貫北道路（若松北バイパス）建設に伴う計画路線内3.2km、190haについて実施した。その結果、周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所と新規の遺跡推定地5箇所を確認した。周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所のうち、2箇所については、包蔵地範囲を拡張した。



図1 県内遺跡分布調査位置図

表1-1 一般国道115号相馬福島道路試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積(m <sup>2</sup> )	平成28年度調査			
					対象面積(m <sup>2</sup> )	トレンテ掘削面積(m <sup>2</sup> )	割合	
D T - B 21 [沼ノ入遺跡]	伊達市霊山町下小国字沼ノ入 字御産	段丘	H28.4.19～4.25	18,800	7,200	18	421.5	5.9%
D T - B 2 [下小国丸屋敷遺跡]	伊達市霊山町下小国字丸屋敷	段丘	H28.4.26	1,400	1,400	3	44.0	3.1%
霊山道路(伊達市) 計				20,200	8,600	21	465.5	5.4%
D T - B 23	伊達市霊山町下小国字力持	段丘	H28.4.27	400	400	2	10.5	2.6%
上ノ台館跡	伊達市霊山町下小国字上ノ台 字赤坊 字清水	丘陵	H28.6.6～6.9 H28.8.24～8.25 H28.10.11～10.12	27,900	4,300	20	96.0	2.2%
D T - B 34 [上ノ台遺跡]	伊達市霊山町下小国字上ノ台 字赤坊	丘陵	H28.6.7～6.8	2,300	400	2	11.0	2.8%
D T - B 25	伊達市保原町富沢字松ノ内 所沢字入ノ内	丘陵	H28.11.15～11.24	8,900	8,900	18	407.0	4.6%
D T - B 29	伊達市保原町上保原字田向	自然堤防	H28.11.25～11.30	23,200	3,900	10	224.3	5.8%
中室内遺跡	伊達市保原町上保原字中室内	自然堤防	H28.10.25～11.1	15,200	4,800	11	315.0	6.6%
D T - B 30	伊達市伏黒字道六榎 字中曾根 字神前 字十文河原	自然堤防	H28.7.11～8.3	26,000	24,000	50	1,146.5	4.8%
D T - B 31	伊達市伏黒字中曾根	自然堤防	H28.8.31～9.6	8,400	6,000	13	295.0	4.9%
宮本遺跡	伊達市伏黒字宮本 字土井ノ内	自然堤防	H28.9.9～9.16	16,100	7,200	17	501.0	7.0%
D T - B 33	伊達市伏黒字六角 字川岸	自然堤防	H28.10.17～10.24	11,600	6,700	17	421.0	6.3%
霊山～福島(伊達市) 計				140,000	66,600	160	3,427.3	5.1%
桑折台遺跡	桑折町字赤坂	段丘	H28.5.19～5.23	750	700	3	15.5	2.2%
Q R - B 1	桑折町成田字新宿 字福山 字赤坂	段丘	H28.5.24～6.1	2,100	1,550	5	48.5	3.1%
Q R - B 3	桑折町松原字日照田	段丘	H28.6.15～6.20 H28.11.9～11.10	20,500	8,800	19	321.0	3.6%
Q R - B 4	桑折町松原字籠ノ前	段丘	H28.6.21～6.29	20,300	6,200	12	228.0	3.7%
霊山～福島(桑折町) 計				43,650	17,250	39	613.0	3.6%
相馬福島道路 合計(1)				303,850	92,450	220	4,506.8	4.9%

表2-1 一般国道289号南倉沢バイパス試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積(m <sup>2</sup> )	平成28年度調査			
					対象面積(m <sup>2</sup> )	トレンテ掘削面積(m <sup>2</sup> )	割合	
C G - B 6	下郷町南倉沢字本城	段丘	H28.9.26～10.5	8,300	4,700	11	62.5	1.3%
南倉沢バイパス(下郷町) 合計(2)				8,300	4,700	11	62.5	1.3%
平成28年度試掘・確認調査遺跡 総合計(1)+(2)				212,150	97,150	231	4,569.3	4.7%

[注]：表中のトレンテ内の％は、今年度の試掘・確認調査対象面積に対するトレンテ掘削面積の割合を示す。

表1-2 一般国道115号相馬福島道路試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成28年度調査結果		取扱い	保存面積 (㎡)	未試掘面積 (㎡)	備考
	遺構	遺物				
DT-B 21 [沼ヶ入遺跡]	土坑・溝跡・ 小穴・竪穴状遺構	なし	一部保存	4,000	1,700	未試掘面積を含め、終了
DT-B 2 [下小国荒原軌道跡]	なし	なし	慎重工事・ 除外	0	0	試掘・確認調査終了
霊山道路（伊達市）計				4,000	1,700	
DT-B 23	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
上ノ台館跡	遺物包含層	縄文土器・古銭	一部保存	300	0	確認調査終了
DT-B 34 [上ノ台遺跡]	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
DT-B 25	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
DT-B 29	なし	なし	除外	0	19,300	
中室内遺跡	なし	縄文土器	慎重工事	0	10,400	
DT-B 30	なし	なし	除外	0	2,000	未試掘面積を含め、終了
DT-B 31	なし	なし	除外	0	2,400	
宮本遺跡	なし	なし	慎重工事	0	8,900	
DT-B 33	竪穴住居跡・溝跡・ 小穴・遺物包含層	弥生土器・土師器・ 須恵器	一部保存	2,400	4,900	荒原軌道跡に含める
霊山～福島（伊達市）計				2,700	47,900	
桑折台遺跡	なし	陶磁器	慎重工事	0	50	未試掘面積を含め、終了
QR-B 1	溝跡・小穴・道跡	土師器・須恵器・陶器	一部保存	1,600	550	新宿遺跡として登録 未試掘面積を含め、終了
QR-B 3	土坑・小穴	土師器・須恵器・石器	一部保存	3,900	900	日照田遺跡として登録 未試掘面積を含め、終了
QR-B 4	土坑・溝跡	土師器・須恵器	一部保存	3,600	10,400	館ノ前遺跡として登録
霊山～福島（桑折町）計				9,100	11,900	
相馬福島道路 合計（1）				15,800	61,500	

表2-2 一般国道289号南倉沢バイパス試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	平成28年度調査結果		取扱い	保存面積 (㎡)	未試掘面積 (㎡)	備考
	遺構	遺物				
CG-B 6	なし	なし	除外	0	0	試掘調査終了
南倉沢バイパス（下郷町） 合計（2）				0	0	
平成28年度試掘・確認調査遺跡 総合計（1）+（2）				15,800	61,500	

## 第2章 試掘・確認調査

### 第1節 一般国道115号相馬福島道路建設予定地

一般国道115号相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ全長約45kmの高規格幹線道路（自動車専用道路）として計画され、平成23年度から東日本大震災からの早期復興を図る復興支援道路として緊急に整備されることとなった。全5区間のうち、相馬西道路と阿武隈東道路の2区間は国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所が、阿武隈東～阿武隈と霊山道路と霊山～福島との3区間は国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が事業を進めている。このうち、阿武隈東道路は平成29年3月26日より供用が開始された。本事業の埋蔵文化財に関する調査は、平成14年度の阿武隈東道路での分布調査より開始した（『福島県内遺跡分布調査報告9』）。その後、同区間では平成18年度より試掘・確認調査を実施し（『福島県内遺跡分布調査報告14』）、平成21年度には同区間にかかる本発掘調査はすべて終了した。

相馬西道路の区間にかかる分布調査は平成23年度に実施し、平成25年度より試掘・確認調査を開始し、平成27年度には同区間にかかる試掘・確認調査及び本発掘調査はすべて終了した（『福島県内遺跡分布調査報告19・21・23』）。

阿武隈東～阿武隈の区間にかかる分布調査は平成24年度に実施し、同年度より試掘・確認調査を開始し、平成26年度には同区間にかかる試掘・確認調査及び本発掘調査はすべて終了した（『福島県内遺跡分布調査報告20・22』）。

霊山道路の区間にかかる分布調査は平成18・21年度に実施し、平成24年度より試掘・確認調査を開始し

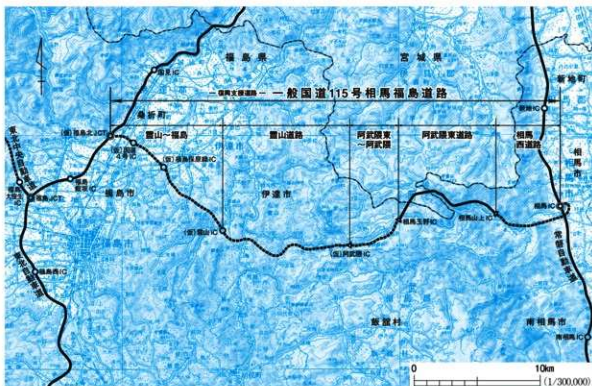


図2 一般国道115号相馬福島道路位置図

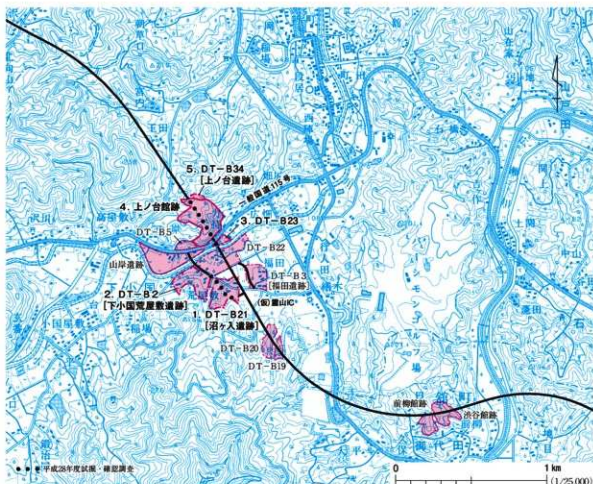


図3 伊達市の遺跡(1)

た〔福島県内遺跡分布調査報告14・17・20〕。平成28年度は、伊達市に所在する遺跡・遺跡推定地(計2箇所)で試掘・確認調査を実施した。これをもって、同区間にかかる試掘・確認調査はすべて終了した。

霊山～福島の間にかかる分布調査は平成24年度に実施し、平成26年度より試掘・確認調査を開始した〔福島県内遺跡分布調査報告21・22〕。平成28年度は、伊達市に所在する遺跡・遺跡推定地(計12箇所)、桑折町に所在する遺跡・遺跡推定地(計4箇所)で試掘・確認調査を実施した。

### (1) 伊達市の遺跡

#### 1. DT-B21<sup>のりい</sup> [沼ヶ入遺跡] (第2次調査)

**所在地** 伊達市霊山町下小国字沼ヶ入、字御渡  
**調査対象面積** 7,200㎡  
**保存面積** 4,000㎡  
**検出遺構** 土坑・溝跡・小穴・堅穴状遺構  
**出土遺物** なし

**概要** DT-B21は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地で



1 DT-B21 32T遺構検出状況(南東から)

ある（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。その後、平成26年度に工区内の9,900㎡を対象に試掘調査が実施され、保存面積4,400㎡が確定し、沼ヶ入遺跡として登録した（『福島県内遺跡分布調査報告22』）。DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕は、小国川右岸の段丘面に立地し、現況は畑・果樹園・宅地である。

本年度の試掘・確認調査は、工区内の7,200㎡を対象に、トレンチ18本を設定して行った。

〔遺構・遺物〕 遺構は、32Tでは竪穴状遺構1基、42Tでは溝跡1条、44Tでは土坑を1基確認した。このほか、31～34・44・48Tでは小穴を1～5基確認した。各遺構の検出面は、基盤層とした黄褐色粘土質シルト層（Ⅱ層）上面である。なお、遺物は、今回の調査では確認できなかった。

〔ま と め〕 試掘・確認調査の結果、遺構を確認した31～34・48Tを中心とした2,600㎡の範囲（保存①）と、42・44Tを中心とした1,400㎡の範囲（保存②）、併せて4,000㎡については、保存の必要がある。これ以外は、保存対象外とするが、包蔵地範囲内の36～40T周辺は、工事などの実施にあたっては慎重に行う必要がある。45～47T周辺については、遺跡として扱わない。

また、試掘・確認調査が実施できなかった残る1,700㎡の範囲については、工事立会の措置とした。よって、今回の調査をもって、工区内におけるDT-B21〔沼ヶ入遺跡〕のすべての試掘・確認調査は終了した。

なお、DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕の4,000㎡の保存範囲は、平成28年度に本発掘調査を実施した。

表3 DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構		出土遺物
	種類	確認面までの深さ	
31T	小穴	30cm	×
32T	小穴・竪穴状遺構	40cm	×
33T	小穴	50cm	×
34T	小穴	30cm	×
42T	溝跡	35cm	○
44T	土坑・小穴	40cm	×
48T	小穴	40cm	×

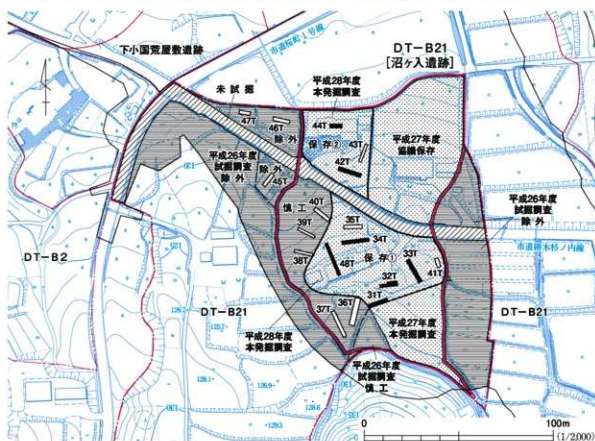


図4 DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕トレンチ配置図



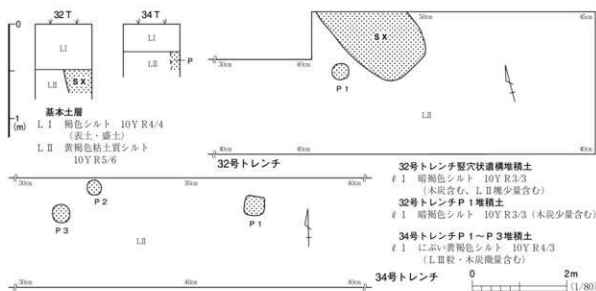


図5 DT-B21 [沼ヶ入遺跡] 検出遺構・土層柱状図

## 2. DT-B2 [下小国荒屋敷遺跡]

所在地 伊達市霊山町下小国字荒屋敷

調査対象面積 1,400㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

**【概要】** DT-B2は、平成18年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告14』）。その後、平成27年度に実施した隣接するDT-B22の試掘調査の結果、縄文時代の遺物包含層が本遺跡推定地の範囲にまで拡がると予想されたことから、本遺跡推定地の一部を含めて下小国荒屋敷遺跡として登録した（『福島県内遺跡分布調査報告23』）。

DT-B2 [下小国荒屋敷遺跡] は、小国川右岸の低位段丘に立地し、現況は宅地・果樹園・畑である。

本年度の試掘・確認調査は、工区内の1,400㎡を対象に、トレンチ3本を設定して行った。

**【まとめ】** 試掘・確認調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は保存対象外とし、包蔵地範囲は慎重工事の措置とした。それ以外の箇所は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、工区内におけるDT-B2 [下小国荒屋敷遺跡] のすべての試掘・確認調査は終了した。

## 3. DT-B23

所在地 伊達市霊山町下小国字力持

調査対象面積 400㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

**【概要】** DT-B23は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。小国川左岸の低位段丘に立地し、現況は宅地である。

本年度の試掘調査は、工区内の400㎡を対象に、トレンチ2本を設定して行った。

**【まとめ】** 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、DT-B23のすべての試掘調査は終了した。

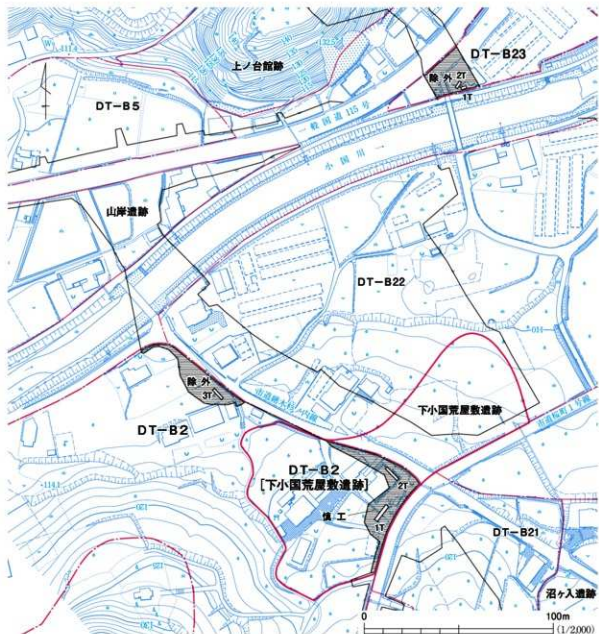


図6 DT-B2 [下小国荒屋敷遺跡]・DT-B23トレンチ配置図

4. 上ノ台館跡 (第2・3次調査)

所在地 伊達市雲山町下小国字上ノ台、字赤坊、字清水

調査対象面積 4,300㎡

保存面積 300㎡

検出遺構 遺物包含層

出土遺物 縄文土器・古銭

【概要】 上ノ台館跡は、平成24年度の分



2 上ノ台館跡 52T周辺全景 (東から)

布調査において、平場などが確認されたことから新規に登録した埋蔵文化財包蔵地である (『福島県内遺跡

分布調査報告21])。その後、平成27年度に工区内の27,900㎡を対象に測量調査(縄張り調査)、工区内の9,400㎡を対象に確認調査が実施され、保存面積15,600㎡が確定した。また、同年度に実施した隣接する遺跡推定地DT-B34の試掘調査の結果を受け、新たに上ノ台遺跡を登録したことに伴い、上ノ台館跡の保存面積は15,300㎡となった(『福島県内遺跡分布調査報告23])。

上ノ台館跡は、小国川に面した標高180mほどの丘陵に立地し、現況は山林である。

本年度の確認調査は、工区内の4,300㎡を対象に、トレンチ20本を設定して行った。

[遺構・遺物] 52Tでは縄文時代晩期の遺物包含層を確認した。一方、52Tより西側に設定し

表4 上ノ台館跡トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構		出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ	
52T	遺物包含層(縄文)	45cm	縄文土器(晩期)
56T			古銭

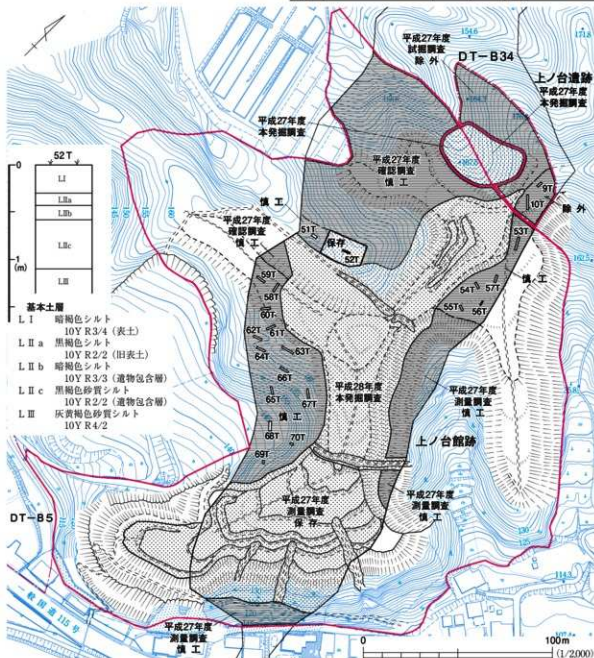


図7 上ノ台館跡トレンチ配置図・土層柱状図、DT-B34 [上ノ台遺跡] トレンチ配置図

た51Tでは遺物包含層を含め、遺構・遺物は確認できなかった。なお、51T周辺は後世の開削を受けており、52T周辺より一段低くなっている。このほか、56Tの表土から古銭が1枚出土したが、遺構は確認できなかった。これ以外のトレンチでも、遺構・遺物は確認できなかった。

**【ま と め】** 確認調査の結果、遺物包含層が分布する52Tを中心とした範囲（300m<sup>2</sup>）については保存の必要がある。これ以外は、保存対象外とするが、工事などの実施にあたっては慎重に行う必要がある。

なお、今回の調査をもって、工区内における上ノ台館跡のすべての確認調査は終了した。

### 5. DT-B34 [上ノ台遺跡] (第2次調査)

**所在地** 伊達市霊山町下小国字上ノ台、字赤坊

**調査対象面積** 400m<sup>2</sup>

**保存面積** 0m<sup>2</sup>

**検出遺構** なし

**出土遺物** なし

**【概要】** DT-B34は、平成27年度に実施した上ノ台館跡の確認調査に伴い、新たに追加された遺跡推定地である。その後、同年度に工区内の1,900m<sup>2</sup>を対象に試掘調査（第1次）が実施され、保存面積600m<sup>2</sup>が確定した。また、上ノ台館跡の確認調査の結果を受け、上ノ台館跡の保存範囲の一部を含めて上ノ台遺跡として登録したことに伴い、上ノ台遺跡の保存面積は900m<sup>2</sup>となった（『福島県内遺跡分布調査報告23』）。なお、この900m<sup>2</sup>の保存範囲は、平成27年度に本発掘調査を実施した。

本年度の試掘調査は、工区内の400m<sup>2</sup>を対象に、トレンチ2本を設定して行った。



図8 伊達市の遺跡（2）

【ま と め】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、DT-B34 [上ノ台遺跡] のすべての試掘調査は終了した。

## 6. DT-B25

所在地 伊達市保原町富沢字松ヶ作  
伊達市保原町所沢字入ノ内

調査対象面積 8,900㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概 要】 DT-B25は、平成24年度の分布調査において、縄文土器が採取されたことから、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。丘陵頂部～南向き緩斜面に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の8,900㎡を対象に、トレンチ18本を設定して行った。

【ま と め】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は、遺跡として扱わない。また、今回の調査をもって、DT-B25のすべての試掘調査は終了した。

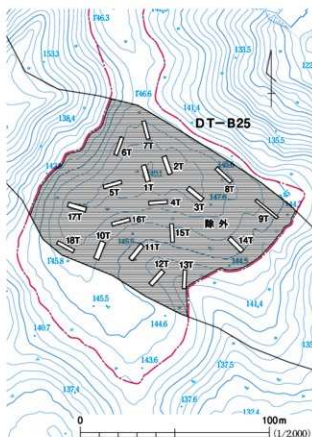


図9 DT-B25トレンチ配置図



図10 伊達市の遺跡（3）

7. DT-B29

所在地 伊達市保原町上保原字田向

調査対象面積 3,900㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概要】 DT-B29は、平成24年度の分布調査において、縄文土器が採取されたことから、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・荒地である。

本年度の試掘調査は、工区内の3,900㎡を対象に、トレンチ10本を設定して行った。

【まとめ】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は、遺跡として扱わない。なお、本遺跡推定地では、19,300㎡の未試掘範囲がある。

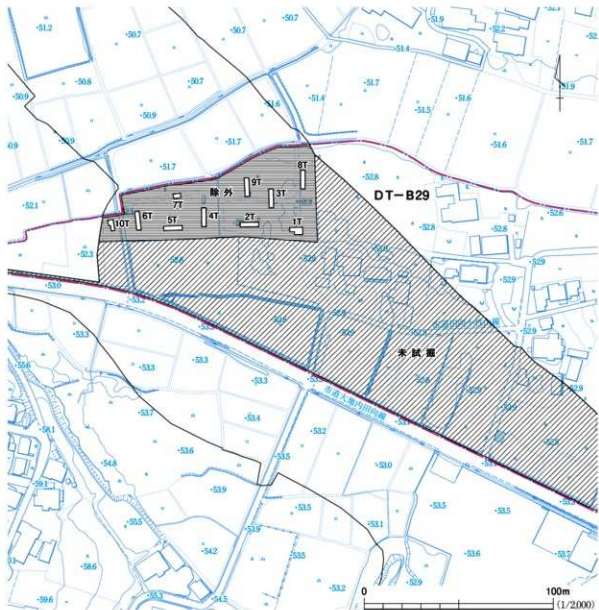


図11 DT-B29トレンチ配置図

## 8. 中室内遺跡

所在地 伊達市保原町上保原字中室内

調査対象面積 4,800㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 縄文土器

【概要】中室内遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地であったが、平成24年度の分布調査において、包蔵地の範囲が拡がること確認され、台帳の変更を行った（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・水田である。

本年度の確認調査は、工区内の4,800㎡を対象に、トレンチ11本を設定して行った。

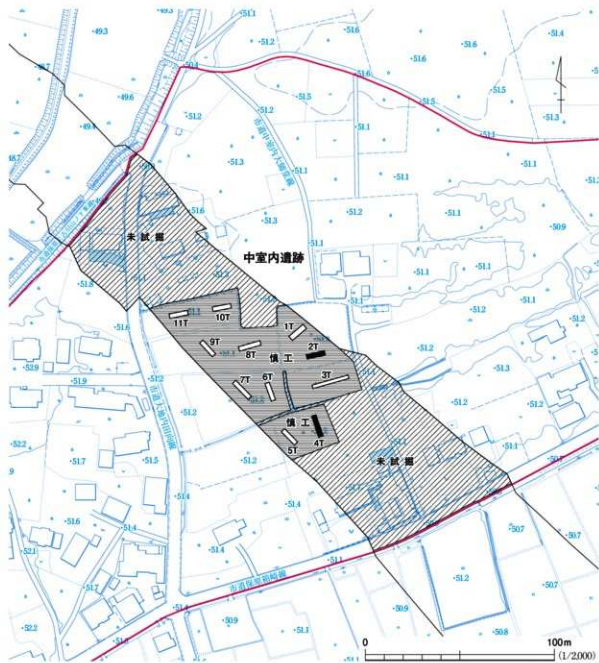


図12 中室内遺跡トレンチ配置図

【ま と め】 確認調査の結果、2・4Tから縄文土器が各2点出土したが、これ以外に各トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、本年度の確認調査範囲は保存対象外とするが、工事などの実施にあたっては慎重に行う必要がある。なお、本遺跡では、10,400㎡の未試掘範囲がある。

### 9. DT-B30

所在地 伊達市伏黒字道六神、字中曾根、字沖前、字十文河原

調査対象面積 24,000㎡ 保存面積 0㎡

検出遺構 なし 出土遺物 なし

【概 要】 DT-B30は、平成24年度の分布調査において、土師器・石器が採取されたことから、新

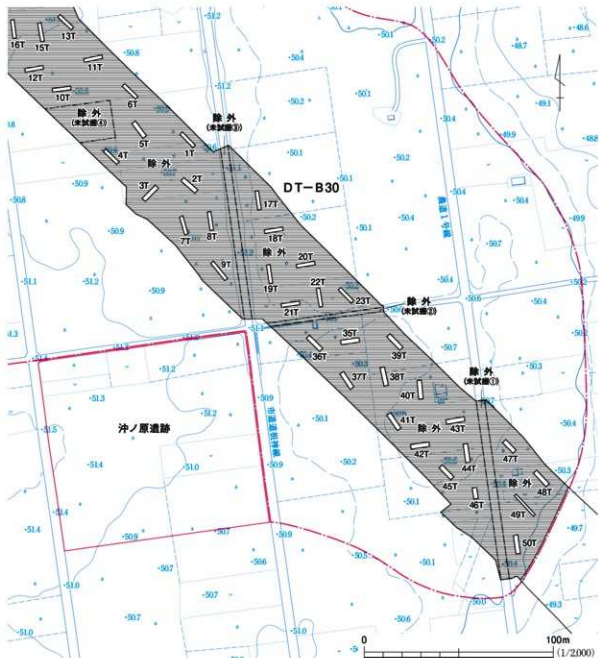


図13 DT-B30トレンチ配置図(1)



たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・畑である。

本年度の試掘調査は、工区内の24,000㎡を対象に、トレンチ50本を設定して行った。

**【ま と め】** 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は、遺跡として扱わない。また、本年度に試掘調査を実施できなかった未試掘①～⑥（計2,000㎡）についても、本年度の試掘調査の結果により、遺構・遺物の分布が予想できないことから、保存対象外と判断した。

よって、今回の調査をもって、DT-B30のすべての試掘調査は終了した。

## 10. DT-B31

**所在地** 伊達市伏黒字中曾根

**調査対象面積** 6,000㎡

**保存面積** 0㎡

**検出遺構** なし

**出土遺物** なし

**【概 要】** DT-B31は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・畑である。本年度の試掘調査は、工区内の6,000㎡を対象に、トレンチ13本を設定して行った。

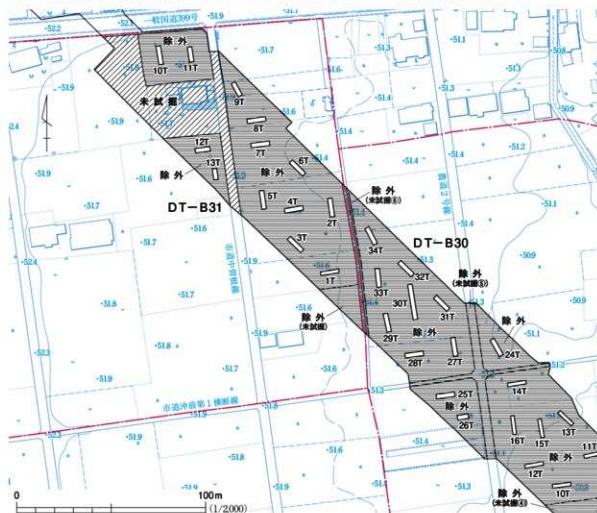


図14 DT-B30トレンチ配置図(2)、DT-B31トレンチ配置図

【ま と め】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は、遺跡として扱わない。本年度に試掘調査を実施できなかった南端部の範囲（300㎡）についても、本遺跡推定地及び隣接するDT-B30の試掘調査の結果により、遺構・遺物の分布が予想できないことから、保存対象外と判断した。このほかの範囲（2,100㎡）は、来年度以降に試掘調査を要する。

## 11. 宮本遺跡

所在地 伊達市伏黒字宮本、字土井ノ内

調査対象面積 7,200㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概要】 宮本遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地であったが、平成24年度の分布調査において、包蔵地の範囲が拡がる事が確認され、台帳の変更を行った（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・畑・宅地である。

本年度の試掘調査は、工区内の7,200㎡を対象に、トレンチ17本を設定して行った。

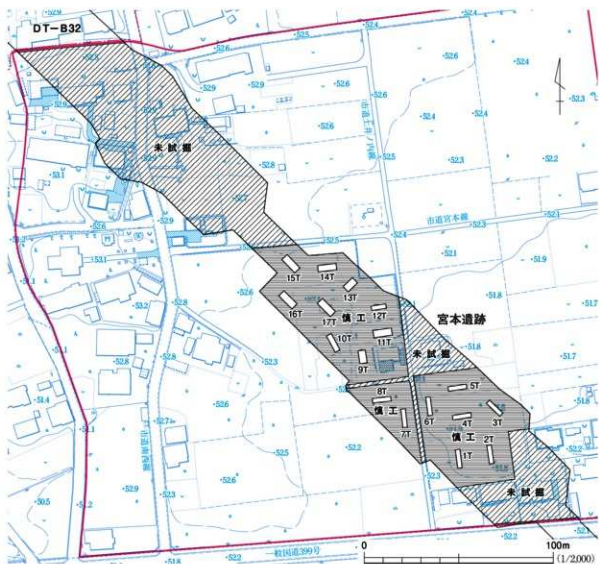


図15 宮本遺跡トレンチ配置図

【ま と め】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、本年度の確認調査範囲は保存対象外とするが、工事などの実施にあたっては慎重に行う必要がある。

なお、本遺跡では、8,900㎡の未試掘範囲がある。

## 12. DT-B33 [荒屋敷遺跡]

所在地 伊達市伏黒字六角、字川岸

調査対象面積 6,700㎡

保存面積 2,400㎡

検出遺構 竪穴住居跡・溝跡・小穴・遺物  
包含層

出土遺物 弥生土器・土師器・須恵器

【概要】 DT-B33は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。本遺跡推定地の東側には、周知の埋蔵文化財包蔵地である荒屋敷遺跡が隣接する。阿武隈川の旧河道に沿って形成された自然堤防上に立地し、現況は果樹園・畑・宅地である。

本年度の試掘調査は、工区内の6,700㎡を対象に、トレンチ17本を設定して行った。

【遺構・遺物】 確認した遺構は、2Tでは竪穴住居跡1軒、溝跡1条、小穴6基、3Tでは溝跡1条、7Tでは小穴4基である。このほか、2・3Tでは、弥生時代後期後半頃の土器（図16-1～3）が出土する遺物包含層（Ⅲ層）を確認した。なお、2・3Tに隣接する1Tでは、Ⅲ層から弥生土器が出土し、遺構を確認した周囲のトレンチと同様の地形が続いていることを確認した。

2Tで確認した遺構の検出面は、基盤層とした褐色粘土質シルト層（Ⅳ層）上面である。竪穴住居跡は、遺構内部にⅢ層と近似した土が堆積し、層中から弥生時代後期後半頃の土器が多く出土したことから、当該期の所産と考えられる。溝跡・小穴についても、竪穴住居跡と同様の土が堆積しているため、弥生時代後期後半頃の所産と推測される。

3Tの溝跡は、検出面がⅢ層上面で、遺構内部には旧表土とした黒褐色粘土質シルト層（Ⅱ層）が堆積している。詳細な時期は不明だが、7TでⅡ層から古代の土師器や須恵器（図16-4）が出土したことから、概ね古代頃と推測される。7Tの小穴は、検出面がⅡ層上面であるため、古代以降の所産と考えられる。

上記のトレンチより南側及び西側のトレンチ（4～6・8～17T）では、表土・盛土直下が氾濫原の砂・礫層で、遺構は確認できなかった。遺物は、9Tで弥生土器が2点出土したが、盛土中からの出土である。



3 DT-B33 2T溝跡検出状況（南西から）



4 DT-B33 3T全景（南西から）

表5 DT-B33トレンチ一覧

トレンチ 番号	検出遺構			出土遺物
	種 類 (時 代)	確認面ま での深さ	遺構内 掘込み	
1T				弥生土器
2T	竪穴住居跡（弥生）・ 溝跡（弥生）・小穴（弥生）・ 遺物包含層（弥生）	70cm	○	弥生土器
3T	溝跡・遺物包含層（弥生）	30cm	○	弥生土器
7T	小穴	35cm	×	土師器・須恵器
9T				弥生土器

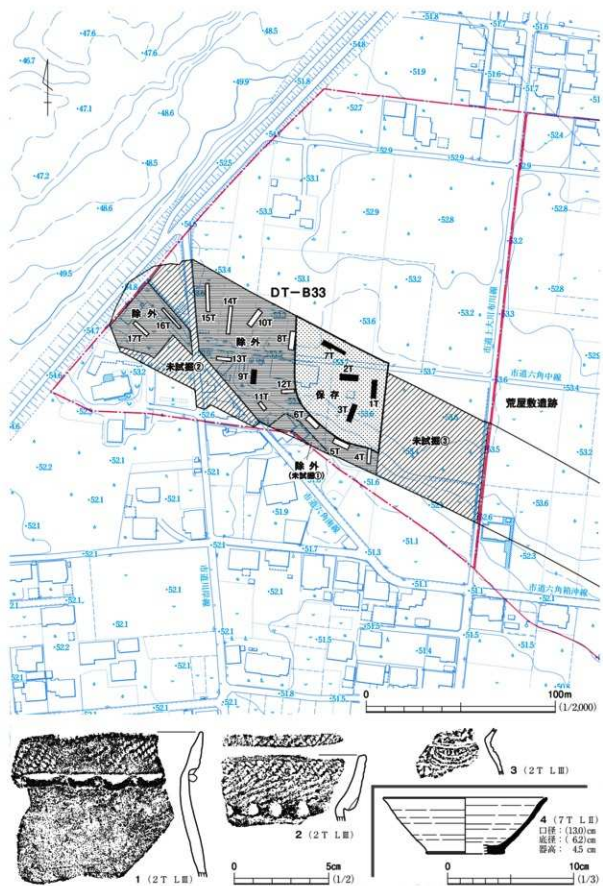


図16 DT-B33トレンチ配置図・出土遺物

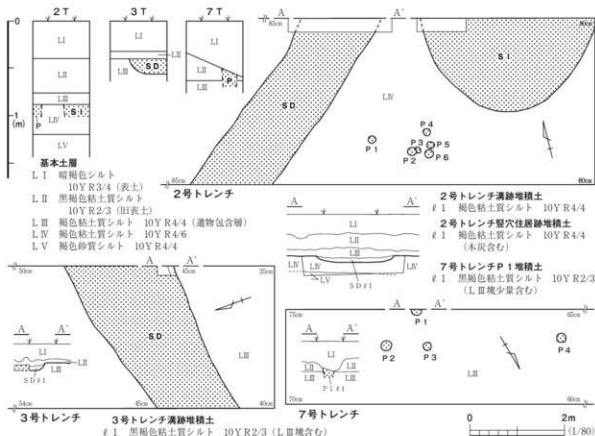


図17 DT-B33検出遺構・土層柱状図

【ま と め】 試掘調査の結果、遺構・遺物を確認した1～3・7Tを中心とした範囲(2400㎡)については、保存の必要がある。この保存範囲及び埋蔵文化財の拡がりが予想される範囲は、隣接する荒屋敷遺跡と同一の地形を呈するため、当該地を含める形で荒屋敷遺跡の範囲を変更した。それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。また、本年度に試掘調査を実施できなかった未試掘①の範囲(200㎡)についても、本年度の試掘調査の結果から、保存対象外と判断した。このほかの未試掘②・③の範囲(計4,700㎡)は、来年度以降に試掘・確認調査を要する。

## (2) 桑折町の遺跡

### 1. 桑折台遺跡

所在地 桑折町字赤坂

調査対象面積 700㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 陶磁器

【概要】 桑折台遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地で、標高55mほどの低位段丘に立地する。現況は畑である。本年度の確認調査は、工区内の700㎡を対象に、トレンチ3本を設定して行った。

【ま と め】 確認調査の結果、各トレンチから遺構は確認できなかった。遺物は、1・2Tから近世陶磁器が出土したが、いずれも盛土中からの出土で、他所からの混入と思われる。よって、本年度の確認調査範囲は保存対象外とするが、工事などの実施にあたっては慎重に行う必要がある。また、本年度に確認調査を



図18 桑折町の遺跡

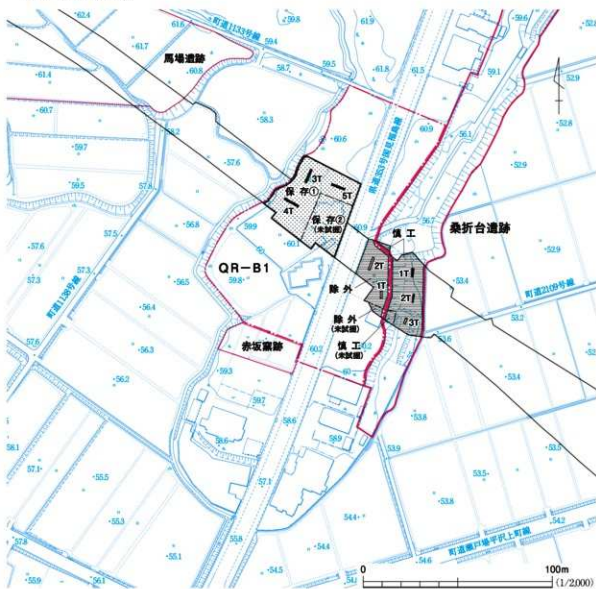


図19 桑折台遺跡・QR-B1トレンチ配置図

実施できなかった南西部の範囲（50m）についても、本年度の確認調査の結果から、保存対象外と判断した。  
以上のことから、今回の調査をもって、工区内における桑折台遺跡のすべての確認調査は終了した。

## 2. QR-B1【新宿遺跡】

所在地 桑折町成田字新宿、字稲山  
桑折町字赤坂

調査対象面積 1,550㎡

保存面積 1,600㎡

検出遺構 溝跡・小穴・道跡

出土遺物 土師器・須恵器・陶器

【概要】 QR-B1は、平成24年度の分布調査において、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。標高55mほどの低位段丘に立地し、東側には桑折台遺跡、南側には赤坂窯跡が隣接する。現況は畑・水田・宅地である。

本年度の試掘調査は、工区内の1,550㎡を対象に、トレンチ5本を設定して行った。

【遺構・遺物】 遺構・遺物が確認されたのは、調査区西部（1,100㎡）に設定した3～5Tである。3Tでは小穴10基、4Tでは溝跡1条と小穴1基を確認した。これらの小穴は、円形や歪んだ円形を呈し、直径20cm前後のものが多い。4Tの溝跡は、幅130cm以上、検出面からの深さは約16cmで、東西方向に延びている。溝跡の所属時期は、古代の土師器・須恵器のほか、中世の陶器が出土していることから、中世の所産と推測される。3・4Tの小穴に関しても、遺構内部に堆積した土が4Tの溝跡と近似することから、中世の所産と推測される。

5Tでは、南北方向に延びる溝跡1条と道跡1条を確認した。道跡は、基盤層としたにぶい黄褐色粘土層（Ⅱ層）を掘り込み、底面ににぶい黄褐色砂質シルト、その上部に黒褐色シルトをそれぞれ平坦に敷いている。道跡の幅は、東端部が水田造成時による開削で失われているため正確な規模は不明だが、4.1m以上である。溝跡は、道跡の西側に沿うように検出されたことから、道跡に伴う側溝と考えられる。溝跡の幅は、約70cmである。これらの遺構の詳細な所属時期は不明だが、溝跡から古代の須恵器が出土していることから、概ね古代以降と推測される。

調査区東部（450㎡）に設定した1・2Tでは、遺構・遺物は確認できなかった。

【まとめ】 試掘調査の結果、遺構・遺物を確認した3～5Tを中心とした1,100㎡の範囲（保存①）については、保存の必要がある。試掘調査を実施できなかった調査区中央部の500㎡の範囲についても、周辺のトレンチの状況から遺構・遺物が埋没している可能性が高いため、保存範囲とした（保存②）。保存範囲の合計は1,600㎡で、この保存範囲を中心に遺構・遺物の拡がり予想される範囲について、新たに新宿遺跡として登録した。それ以外の箇所については、保存対象外とし、遺跡として扱わない。また、条件整備の整わなかった南東部の範囲（50m）についても、本年度の試掘調査の結果から、保存対象外と判断した。

よって、今回の調査をもって、工区内におけるQR-B1のすべての試掘調査は終了した。



5 QR-B1 5T道跡断面（南西から）

表6 QR-B1トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ	遺構内掘込み	
3T	小穴	20cm	○	土師器・須恵器・陶器
4T	溝跡(中世)・小穴	20cm	○	
5T	溝跡・道跡	25cm	○	

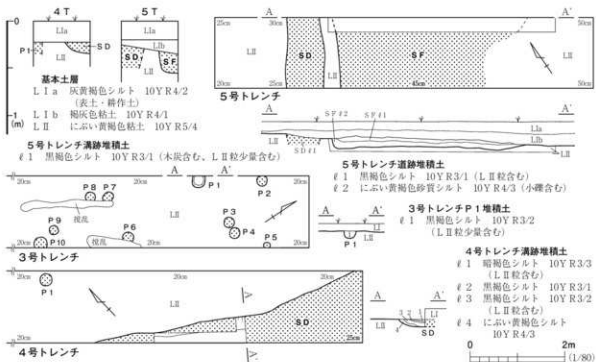


図20 QR-B1 検出遺構・土層柱状図

3. QR-B3 [日照田遺跡]  
(第2・3次調査)

所在地 桑折町松原字日照田

調査対象面積 8,800㎡

保存面積 3,900㎡

検出遺構 土坑・小穴

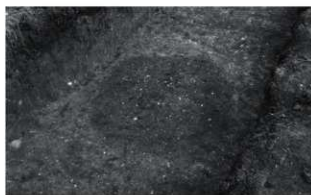
出土遺物 土師器・須恵器・石器

**【概要】** QR-B3は、平成24年度の分布調査において、土師器が採取されたことから、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。江戸時代に開削された西根上堰と下堰の間の、標高85mほどの低位段丘に立地する。現況は、水田・果樹園・畑である。

本年度の試掘調査は、工区内の8,800㎡を対象に、トレンチ19本を設定して行った。

**【遺構・遺物】** 32・34・38・44Tでは、土坑や小穴を確認した。このうち、44Tの土坑は、堆積土中から古代の土師器や須恵器が出土することから、古代の所産と推測される。また、各トレンチの小穴や38Tの土坑についても、周辺から古代の土師器が出土するため、概ね古代の所産と推測される。

32Tの土坑は、幅約50cm、長さ約130cmの楕円形で、この規模や形状から、縄文時代の落し穴の可能性が



6 QR-B3 38T土坑検出状況（南西から）

表7 QR-B3トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種別(時代)	確認面までの深さ	遺構内掘込み	
32T	土坑・小穴	45cm	○	石器 土師器
33T				土師器
34T	小穴	75cm	×	
38T	土坑	60cm	×	土師器
40T				土師器
44T	土坑(古代)・小穴	75cm	×	土師器・須恵器
45T				土師器
47T				土師器
48T				土師器
50T				土師器・須恵器



る。これ以外のトレンチでは、遺構は確認できなかった。遺物は、40・47・48・50 Tで土師器・須恵器が出土したが、いずれも盛土中からの出土で、他所からの混入と思われる。

各遺構の検出面は、32・34・38 Tは基盤層とした灰黄褐粘土質シルト層（Ⅲ層）上面で、44 Tはグライ化した褐灰色粘土層（Ⅱ a～Ⅱ c層）中のⅡ c層上面である。なお、44 T周辺は谷地形ではないため、Ⅱ c層は後世に変質してグライ化したと推測される。グライ化の要因の一つとして、Ⅱ c層の上部に堆積するⅡ a・Ⅱ b層が古代以降の水田跡である可能性が予測できる。ただ、湧水が激しく詳細は確認できなかった。

【ま と め】 試掘調査の結果、32～34・44・45 Tを中心とした2,600㎡の範囲（保存①）と、38 Tを中心とした1,000㎡の範囲（保存②）については、保存の必要がある。条件整備の整わなかった38 Tより東側の範囲（100㎡）及び32 Tより北側の調査区外の範囲（200㎡）についても、各保存範囲と同様の地形が続いており、遺構・遺物が埋没している可能性があることから保存範囲とした（保存③・④）。保存範囲の合計は3,900㎡で、この保存範囲を中心に、遺構・遺物の拡がりが見込まれる範囲について、新たに日照田遺跡として登録した。これ以外は、保存対象外とするが、仮設範囲内の35～37・39 T周辺は、工事などの実施にあたっては慎重に行う必要がある。それ以外の箇所は、遺跡として扱わない。また、試掘調査を実施できなかった中央部の範囲（800㎡）についても、周辺のトレンチの状況から、保存対象外と判断した。

よって、今回の調査をもって、工区内におけるQR-B3のすべての試掘調査は終了した。

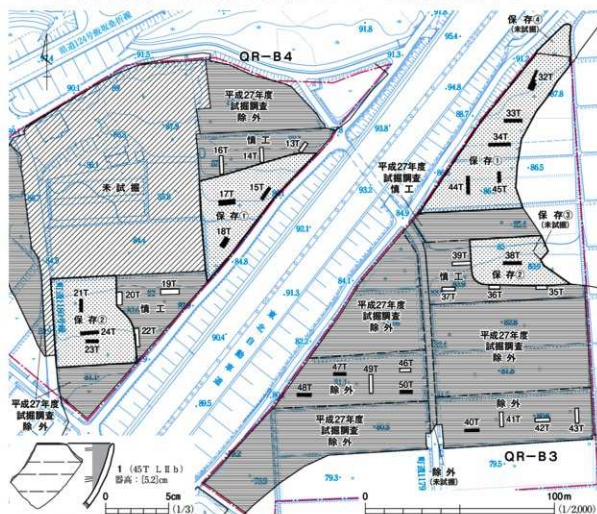


図21 QR-B3トレンチ配置図・出土遺物、QR-B4トレンチ配置図

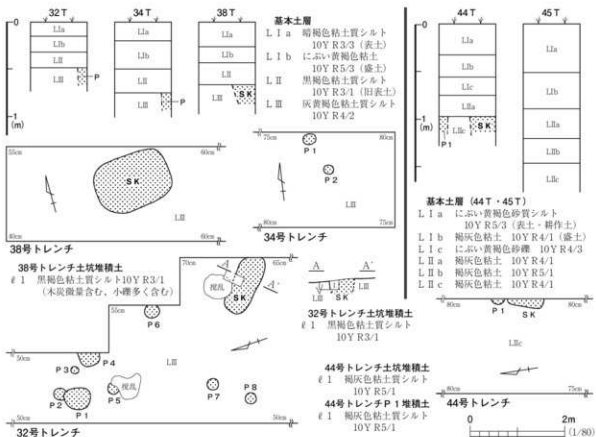


図22 QR-B3 検出遺構・土層柱状図

4. QR-B4 [館ノ前遺跡] (第2次調査)

所在地 桑折町松原字館ノ前

調査対象面積 6,200㎡

保存面積 3,600㎡

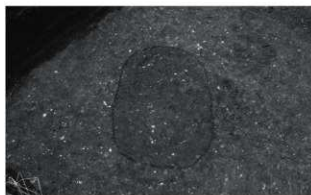
検出遺構 土坑・溝跡

出土遺物 土師器・須恵器

**【概要】** QR-B4は、平成24年度の分布調査において、縄文土器や土師器が採取されたことから、新たに追加された遺跡推定地である(福島県内遺跡分布調査報告21)。江戸時代に開削された西根上堰と下堰の間の、標高85mほどの低位段丘に立地する。現況は果樹園・水田・荒地である。

本年度の試掘調査は、工区内の6,200㎡を対象に、トレンチ12本を設定して行った。

**【遺構・遺物】** 調査区東部(13~18T)では、15・17・18Tから土坑を各1基確認した。このうち、17・18Tの土坑は、いずれも幅約70cm、長さ約120cmの楕円形を呈する。遺構の詳細な時期・性格などは、出土



7 QR-B4 18T土坑検出状況(南から)

表8 QR-B4トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物	
	種別(時代)	確認面までの深さ	遺構内掘込み		
15T	土坑	30cm	○		
17T	土坑	50cm	×		
18T	土坑	80cm	×		
21T	溝跡	85cm	○		土師器・須恵器
23T	溝跡	95cm	○		須恵器
24T	溝跡	100cm	○		土師器

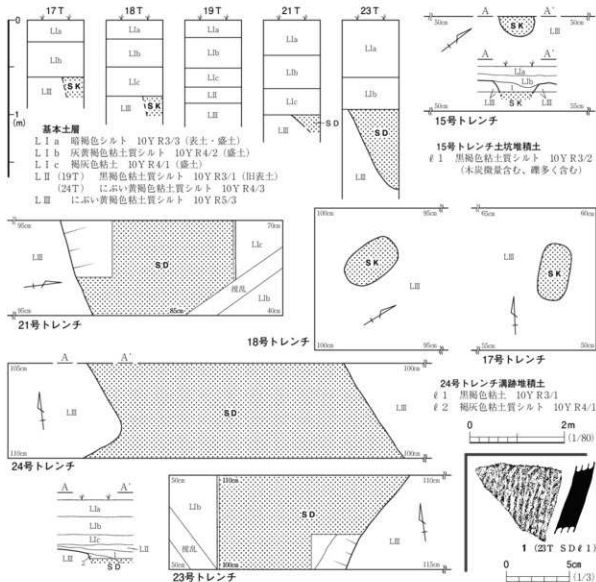


図23 QR-B4 検出遺構・土層柱状図・出土遺物

遺物がないたため不明だが、これらの規模や形状から、縄文時代の落し穴の可能性はある。

調査区西部(19～24 T)では、21・23・24 Tから溝跡を各1条確認した。このうち、23 Tと24 Tの溝跡は同一遺構と推測され、23 Tから24 Tにかけて逆L字形に屈曲するため、何らかの区画溝の可能性はある。溝跡の規模は、24 Tで幅約4.8 m、23 Tで深さ約80 cmである。21 Tの溝跡は、幅3.7 m以上で東西方向に延びるが、同トレンチより東の延長上に設定した20 Tでは確認できなかった。これらの溝跡の詳細な時期は不明だが、堆積土中から古代の土師器や須恵器(図23-1)が出土したため、概ね古代以降と推測される。

なお、これ以外のトレンチでは、遺構・遺物は確認できなかった。

**【まとめ】** 試掘調査の結果、遺構・遺物を確認した15・17・18 Tを中心とした1,800 m<sup>2</sup>の範囲(保存①)と、21・23・24 Tを中心とした1,800 m<sup>2</sup>の範囲(保存②)、併せて3,600 m<sup>2</sup>については、保存の必要がある。この保存範囲を中心に、遺構・遺物の拡がり予想される範囲について、新たに館ノ前遺跡として登録した。

それ以外の箇所は、保存対象外とするが、工事などの実施にあたっては慎重に行う必要がある。なお、QR-B4 [館ノ前遺跡]では、10,400 m<sup>2</sup>の未試掘範囲がある。

## 第2節 一般国道289号南倉沢バイパス建設予定地

一般国道289号南倉沢バイパスは、交通不能区間の解消を目的とした甲子道路（平成20年9月開通）の一部であり、下郷町大松川から同南倉沢に至る総長約6.2kmの2車線道路である。現在、福島県土木部南倉津建設事務所が事業を進めており、一部の区間は供用している。

平成28年度は、遺跡推定地1箇所を試掘調査を実施した。



図24 下郷町の遺跡

### (1) 下郷町の遺跡

#### 1. CG-B6 (第2次調査)

所在地 下郷町南倉沢字木蔵

調査対象面積 4,700㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

**【概要】** CG-B6は、平成13年度の分布調査で、新たに追加された遺跡推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告8』）。観音川右岸の段丘緩斜面に立地し、現況は山林である。

本年度の試掘調査は、工区内の4,700㎡を対象に、トレンチ11本を設定して行った。

**【まとめ】** 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内調査範囲は、遺跡として取り扱わない。

また、今回の調査をもって、CG-B6のすべての試掘調査は終了した。



図25 CG-B6 トレンチ配置図

## 第3章 分布調査

### 第1節 地域高規格道路(会津縦貫北道路)建設予定地

会津縦貫北道路は、喜多方市関柴町から河沼郡湯川村を経て、会津若松市神指町に至る地域高規格道路で、現在、喜多方ICから会津若松北IC間は供用している。本年度、会津縦貫北道路の延長整備区間として若松北バイパスが指定されたため、同区間について分布調査を行った。なお、若松北バイパスは、会津若松市高野町から同市神指町にかけての3.2km、供用中の湯川南ICと会津若松北ICの間から現在整備中の若松西バイパスに接続する区間である。

平成28年4月に実施した分布調査の結果、表9に示した周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所と新規の遺跡推定地5箇所を確認した。周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所のうち、鶴沼A遺跡と上吉田C遺跡の2箇所については、包蔵地範囲の周囲からも遺物が採取されたため、包蔵地範囲が広がることを確認した。

なお、今回提示した調査対象遺跡・遺跡推定地及び工区内面積については、今後の工事計画の変更などにより、変動する可能性がある。

表9 会津縦貫北道路(若松北バイパス)関連遺跡一覧(会津若松市)

No.	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m <sup>2</sup> )	備考
1	鶴沼B遺跡	202800230	会津若松市高野町中沼字鶴沼	水田	奈良・平安		30,600	周知の埋蔵文化財包蔵地
2	AW-B6		高野町中沼字鶴沼 柳川字下高野	水田			14,900	新規の遺跡推定地
3	鶴沼A遺跡	202800229	高野町中沼字鶴沼 柳川字下高野	水田	奈良・平安	弥生土器・須恵器	23,000	周知の埋蔵文化財包蔵地
4	AW-B7		高野町中沼字鶴沼	水田			10,400	新規の遺跡推定地
5	下高野B遺跡	202800232	高野町柳川字下高野 中沼字鶴沼	水田・畑	奈良・平安	須恵器	7,200	周知の埋蔵文化財包蔵地
6	上吉田C遺跡	202800248	高野町上高野字村北 町北町中沢字中地	水田	奈良・平安	須恵器・陶磁器・石器	22,000	周知の埋蔵文化財包蔵地
7	AW-B8		町北町中沢字中地	水田			24,700	新規の遺跡推定地
8	AW-B9		町北町中沢字向川原 神指町北四合字東川原 神指町高瀬字大進東	水田			34,100	新規の遺跡推定地
9	AW-B10		神指町高瀬字五百司	水田・畑		土師器・陶磁器	13,800	新規の遺跡推定地
							工区内計	180,700

※鶴沼A遺跡と上吉田C遺跡は、今回の調査の結果により埋蔵文化財包蔵地範囲の変更を行った。



8 鶴沼A遺跡全景(南から)



9 下高野B遺跡全景(東から)



10 上吉田C遺跡全景（西から）



11 AW-B9全景（北から）

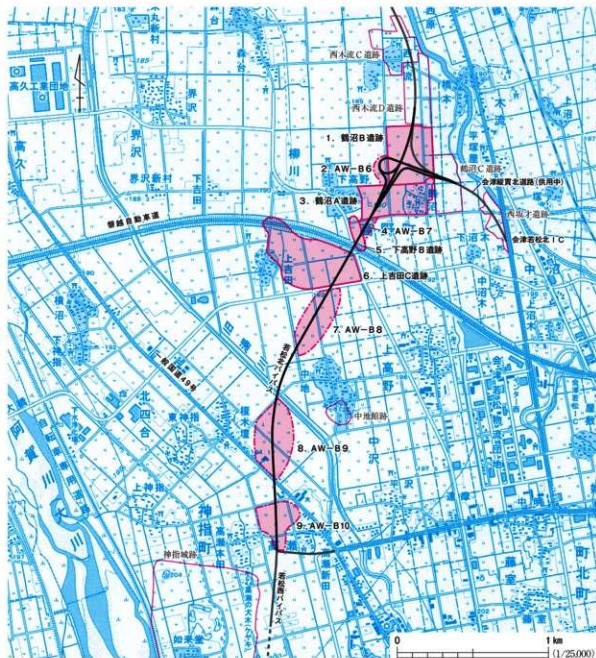


図26 会津縦貫北道路（若松北バイパス）予定路線と遺跡・遺跡推定地

## 第4章 総 括

平成28年度は、試掘・確認調査を2事業（3市町）の計17箇所の遺跡及び遺跡推定地で実施した。分布調査は、1事業（1市）で実施した。これらの調査は、平成28年4月中旬から11月下旬の期間で行った。試掘・確認調査の結果、計6箇所で見逃しを要する範囲が確定した。

なお、保存を要する範囲が確定した埋蔵文化財包蔵地のうち、DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕、上ノ台館跡、QR-B1〔新宿遺跡〕では本年度に本発掘調査を実施し、記録保存を終えている。DT-B33〔荒屋敷遺跡〕、QR-B3〔日照田遺跡〕、QR-B4〔館ノ前遺跡〕は来年度以降に本発掘調査が行われる予定である。

以下、各事業の平成28年度の試掘・確認調査成果を表10～12にまとめたが、各表・本文中で掲げた調査対象面積、保存面積、未試掘面積などは、今後の工事計画の変更により、変動する可能性がある。

### 1. 一般国道115号相馬福島道路建設予定地

相馬市から伊達市を經由し、柔折町に至る高規格幹線道路である相馬福島道路は、これまで相馬西道路・阿武隈東道路・阿武隈東～阿武隈・霊山道路・霊山～福島との5区間に分かれて事業が進められてきた。このうち、阿武隈東道路・阿武隈東～阿武隈の2区間では、試掘・確認調査及び本発掘調査はすべて終了している。

平成28年度の本事業における試掘・確認調査は、霊山道路で2箇所、霊山～福島で14箇所の計16箇所で行った。

【伊達市】同市地内の霊山道路にかかる試掘・確認調査は、DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕とDT-B2〔下小国荒屋敷遺跡〕の2箇所で行った。その結果、DT-B21〔沼ヶ入遺跡〕では保存を要する範囲（4,000㎡）が確定された。なお、霊山道路で平成29年度以降、試掘・確認調査の対象となる箇所はなく、本年度ですべて終了した。

同市地内の霊山～福島にかかる試掘・確認調査は、計19箇所の遺跡及び遺跡推定地を対象として、平成26年度から実施し、2箇所について終了している（『福島県内遺跡分布調査報告22・23』）。平成28年度は、DT-B23、上ノ台館跡、DT-B34〔上ノ台遺跡〕、DT-B25、DT-B29、中室内遺跡、DT-B30、DT-B31、宮本遺跡、DT-B33の10箇所で行った。その結果、保存を要する範囲が確定されたのは、上ノ台館跡（300㎡）、DT-B33（2,400㎡）の2箇所、保存面積の合計は、2,700㎡である。この

表10 相馬福島道路（霊山道路）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（伊達市）

No	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内 面積(㎡)	年度別調査対象面積		未試掘 面積(㎡)	保存 面積(㎡)	備 考	
		終	未		年度	報告書				
1	DT-B21 〔沼ヶ入〕	●		18,800	H26	9,900	〔案内分〕22	1,700	4,400	H26 沼ヶ入遺跡として新規登録 H27 (1,300㎡)本発掘調査実施 H27 (3,100㎡)協議保存(盛土) H28 (4,000㎡)本発掘調査実施 未試掘1,700㎡は立会対応(6頁)
					H28	7,200				
2	DT-B2 〔下小国荒屋敷〕	●		1,400	H28	1,400	(7頁)	0	0	
3	DT-B5	●		1,000	-	-	-	1,000	-	未試掘1,000㎡は立会対応
合 計		3	0	21,200	終了	18,500		2,700	8,400	保存8,400㎡内、5,300㎡未発掘調査終了、 3,100㎡は協議保存(盛土)
					H28	8,600			4,000	

【表10～12用例】〔案内分〕→『福島県内遺跡分布調査報告』、(●)→『報告書掲載ページ』、終→終了、継→調査継続中、未→未着手。

※ 試掘対象面積・未試掘面積などは、工事計画などにより変更される場合がある。

うち、DT-B33は隣接する周知の埋蔵文化財包蔵地である荒屋敷遺跡に含めた。

また、本年度でDT-B23、上ノ台館跡、DT-B34〔上ノ台遺跡〕、DT-B25、DT-B30の5箇所の試掘・確認調査を終了した。

以上により、伊達市地内の霊山～福島で平成29年度以降、試掘・確認調査の対象となる遺跡及び遺跡推定地は、計12箇所ので、試掘・確認調査が必要な未試掘面積の合計は90,700㎡である。

表11 相馬福島道路（霊山～福島）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（伊達市・桑折町）

No	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内 面積(㎡)	年度別調査対象面積		未試掘 面積(㎡)	保存 面積(㎡)	備 考					
		終	未		年度	報告書								
【伊達市】														
1	DT-B23	●		400	H28	400 (7頁)	0	0						
2	上ノ台館跡	●		27,900	H27 (測量) H27 H28	14,200 9,400 4,300 [限内分23] [限内分23] (8頁)	0	11,900 3,700 300	H27保存3,700㎡の内、400㎡はDT-B34〔上ノ台〕に含める〔限内分23〕 H28(8,700㎡)本発掘調査実施					
3	DT-B34 〔上ノ台〕	●		2,300	H27 H28	1,900 400 (10頁)	0	600 0	H27保存600㎡の内、100㎡は上ノ台館跡に加え、残る500㎡は上ノ台遺跡として新規登録 これに上記400㎡を加え、保存900㎡とする〔限内分23〕 H27(900㎡)本発掘調査実施					
4	DT-B24		●	5,600	-	-	5,600	-						
5	DT-B25	●		8,900	H28	8,900 (11頁)	0	0						
6	DT-B26	●		18,500	H27	18,500 [限内分23]	0	0						
7	DT-B35		●	2,500	H27	1,400 [限内分23]	1,100	0						
8	DT-B36		●	10,700	-	-	10,700	-						
9	DT-B27		●	4,500	-	-	4,500	-						
10	大上山		●	5,600	-	-	5,600	-						
11	DT-B28	●		14,200	H26 H27	6,000 7,900 [限内分22] [限内分23]	300	0	未試掘300㎡は除外と判断〔限内分23〕					
12	DT-B29	●		23,200	H28	3,900 (12頁)	19,300	0						
13	中室川	●		15,200	H28	4,800 (13頁)	10,400	0						
14	DT-B30	●		26,000	H28	24,000 (14頁)	2,000	0	未試掘2,000㎡は除外と判断(15頁)					
15	DT-B31	●		8,400	H28	6,000 (15頁)	2,400	0	未試掘2,400㎡の内、300㎡は除外と判断(16頁)					
16	宮本	●		16,100	H28	7,200 (16頁)	8,900	0						
17	DT-B32		●	7,100	-	-	7,100	-						
18	荒屋敷		●	10,700	-	-	10,700	-						
19	DT-B33 〔荒屋敷〕	●		11,600	H28	6,700 (17頁)	4,900	2,400	H28 荒屋敷遺跡に含める 未試掘4,900㎡の内、300㎡は除外と判断(19頁)					
伊達市 計					7	6	6	219,400	終了	125,900	93,500	18,900	未試掘93,500㎡の内、2,800㎡は除外と判断 保存18,900㎡の内、9,600㎡本発掘調査終了	
【桑折町】														
1	桑折台	●		750	H28	700 (19頁)	50	0	未試掘50㎡は除外と判断(21頁)					
2	QR-B1 〔新田〕	●		2,100	H28	1,550 (21頁)	550	1,600	H28 新規遺跡として新規登録 未試掘550㎡の内、500㎡は保存、残る50㎡は除外と判断(21頁) H28(50㎡)協議保存 H28工区変更により、1,850㎡本発掘調査実施					
3	QR-B2 〔原田〕	●		18,500	H27	14,600 [限内分23]	3,900	3,700	H27 原田遺跡として新規登録 H28(3,700㎡)本発掘調査実施					
4	QR-B3 〔日照田〕	●		20,500	H27 H28	10,800 8,800 (22頁)	900	0 3,900	H28 日照田遺跡として新規登録 未試掘900㎡の内、100㎡は保存、残る800㎡は除外と判断(23頁)					
5	QR-B4 〔龍ノ前〕	●		20,300	H27 H28	3,700 6,200 (24頁)	10,400	0 3,600	H28 龍ノ前遺跡として新規登録					
桑折町 計					3	2	0	62,150	終了	46,350	15,800	12,800	未試掘15,800㎡の内、600㎡は保存、900㎡は除外、植工と判断 保存12,800㎡の内、5,250㎡本発掘調査終了、50㎡は協議保存	
伊達市・桑折町 合計					10	8	6	281,550	終了	172,250	109,300	31,700	11,800	



【桑折町】 同町地内の霊山～福島にかかる試掘・確認調査は、5箇所の遺跡及び遺跡推定地を対象として、平成27年度から実施している（『福島県内遺跡分布調査報告23』）。平成28年度は、桑折台遺跡、QR-B1、QR-B3、QR-B4の4箇所で実施した。その結果、保存を要する範囲が確定されたのは、QR-B1（1,600㎡）、QR-B3（3,900㎡）、QR-B4（3,600㎡）の3箇所で、保存面積の合計は、9,100㎡である。QR-B1は新宿遺跡、QR-B3は日照田遺跡、QR-B4は館ノ前遺跡として、新規に登録した。また、本年度で桑折台遺跡、QR-B1、QR-B3の3箇所の試掘・確認調査を終了した。

以上により、桑折町地内の霊山～福島で平成29年度以降、試掘・確認調査の対象となる遺跡及び遺跡推定地は、計2箇所で、試掘・確認調査が必要な未試掘面積の合計は14,300㎡である。

## 2. 一般国道289号南倉沢バイパス建設予定地

南倉沢バイパス関連の試掘・確認調査は、計9箇所の遺跡及び遺跡推定地を対象として、平成13・14・22・26年度に実施し、8箇所について終了している（『福島県内遺跡分布調査報告8・9・18・22』）。

【下郷町】 同町地内の南倉沢バイパスにかかる試掘・確認調査は、CG-B6の1箇所で行ったが、保存を要する範囲はなかった。以上により、南倉沢バイパスにかかる試掘・確認調査はすべて終了した。

表12 一般国道289号南倉沢バイパス関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（下郷町）

No	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内面積(㎡)		年度別調査対象面積		報告書	未試掘面積(㎡)	保存面積(㎡)	備考
		終	未	年度	面積(㎡)	年度	面積(㎡)				
1	CG-B6	●		8,300	H13 H28	3,600 4,700	『県内分冊』 (26頁)	0	0	H28工区変更に伴い面積を8,300㎡に変更	
	下郷町 計	1		8,300	終了 H28	8,300 4,700		0	0		

## 3. 埋蔵文化財包蔵地の登録と変更

本報告における分布調査及び試掘・確認調査の結果、3件の埋蔵文化財包蔵地を新規に登録し、3件の埋蔵文化財包蔵地について内容の変更を行った。また、相馬福島道路建設予定地内で、工事中に不時発見された1件の埋蔵文化財包蔵地を新規に登録した。

今後は、以下の内容に基づいて埋蔵文化財の保護を行う。

### 【伊達市】

#### 荒屋敷遺跡（伊達市伏黒字荒屋敷、字六角）

相馬福島道路建設予定地内で、遺跡推定地DT-B33の試掘調査を実施したところ、周知の埋蔵文化財

表13 埋蔵文化財包蔵地（新規・変更）一覧

市町村 コード	遺跡 コード	遺跡名	所在地	登録概要	種別	時代	面積	備考
2133	00032	荒屋敷遺跡	伊達市伏黒字荒屋敷、字六角	範囲変更	散布地	弥生・平安	80,800㎡	DT-B33の一部を荒屋敷遺跡に含める
3016	00104	新宿遺跡	桑折町成田字新宿、字福山	新規登録	散布地	奈良・平安・中世	5,800㎡	QR-B1の一部を新宿遺跡として登録
3016	00105	馬場遺跡	桑折町成田字馬場、字福山	新規登録	散布地	奈良・平安・中世	9,600㎡	工事中不時発見
3016	00106	館ノ前遺跡	桑折町松原字館ノ前	新規登録	散布地	奈良・平安	15,800㎡	QR-B4の一部を館ノ前遺跡として登録
3016	00107	日照田遺跡	桑折町松原字日照田	新規登録	散布地	奈良・平安	8,700㎡	QR-B3の一部を日照田遺跡として登録
2028	00229	楕田A遺跡	会津若松市高野町中田字楕田 楕田字下高野	範囲変更	散布地	奈良・平安	92,200㎡	分布調査の結果による
2028	00248	上吉田C遺跡	会津若松市高野町上高野字村北 村北町中字下中地	範囲変更	散布地	奈良・平安	174,200㎡	分布調査の結果による

包蔵地である荒屋敷遺跡に隣接する箇所で、弥生時代の堅穴住居跡や溝跡など、埋蔵文化財の存在を確認した。埋蔵文化財の拡がり予想される範囲は、荒屋敷遺跡と同一の地形を呈するため、当該地を含める形で荒屋敷遺跡の範囲を変更した。変更後の登録面積は、80,800㎡である。

【桑 折 町】

新 宿 遺 跡 (桑折町成田字新宿、字稲山)

相馬福島道路建設予定地内で、遺跡推定地QR-B1の試掘調査を実施したところ、溝跡や小穴など、埋蔵文化財の存在を確認したため、同一の地形を呈する範囲を含めて埋蔵文化財包蔵地として新規に登録し

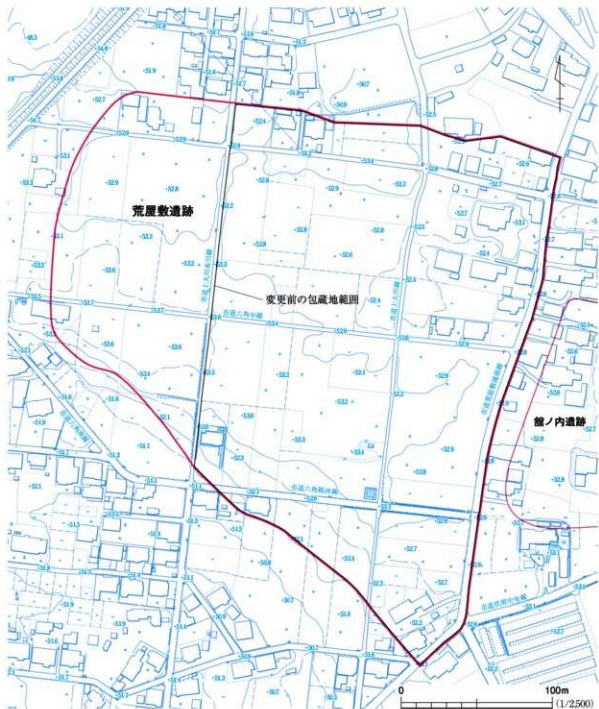


図27 荒屋敷遺跡の範囲

た。登録面積は5,800㎡である。

**馬場遺跡** (桑折町成田字馬場、宇稲山)

相馬福島道路建設予定地内で、工事中に溝跡や小穴など、埋蔵文化財の存在を確認したため、同一の地形を呈する範囲を含めて埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。登録面積は9,400㎡である。

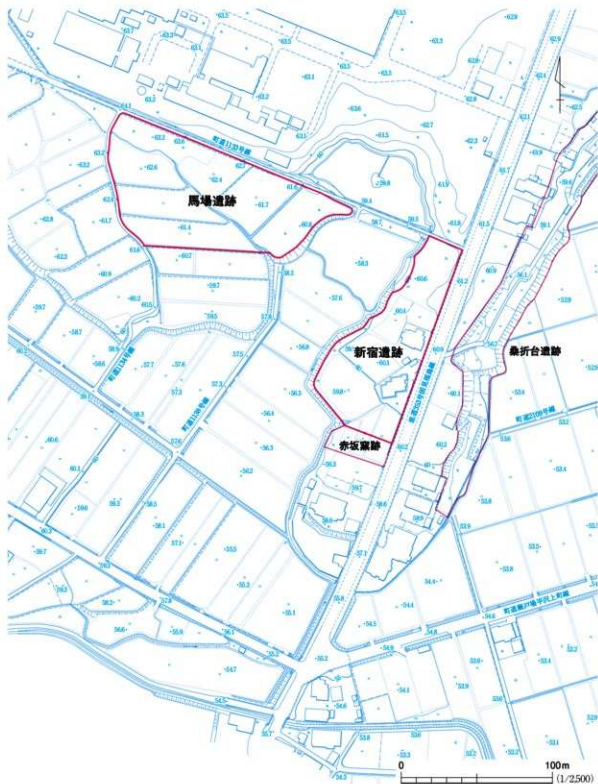


図28 新宿遺跡・馬場遺跡の範囲

館ノ前遺跡 (桑折町松原字館ノ前)

相馬福島道路建設予定地内で、遺跡推定地QR-B4の試掘調査を実施したところ、土坑や溝跡など、埋蔵文化財の存在を確認したため、同一の地形を呈する範囲を含めて埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。登録面積は15,800㎡である。

日照田遺跡 (桑折町松原字日照田)

相馬福島道路建設予定地内で、遺跡推定地QR-B3の試掘調査を実施したところ、土坑や小穴など、埋蔵文化財の存在を確認したため、同一の地形を呈する範囲を含めて埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。登録面積は8,700㎡である。

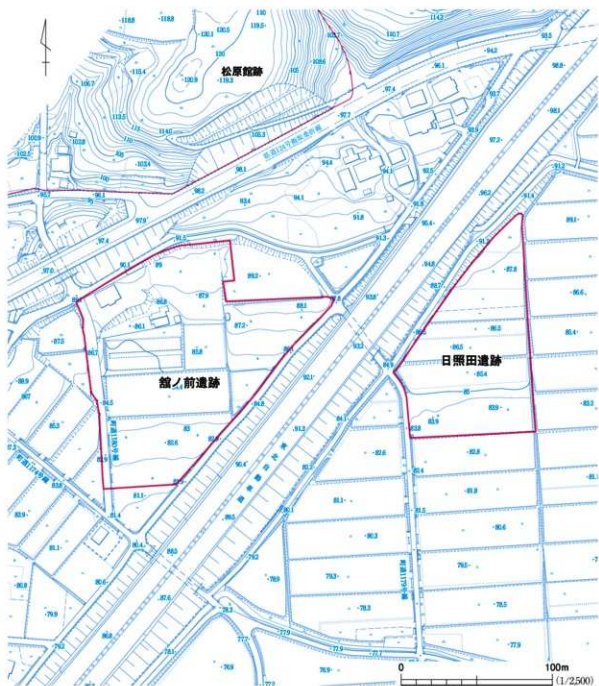


図29 館ノ前遺跡・日照田遺跡の範囲

【会津若松市】

鶴沼A遺跡（会津若松市高野町中沼字鶴沼、同市高野町柳川字下高野）

会津縦貫北道路建設予定地内で、分布調査を実施したところ、弥生土器・須恵器を採取した。埋蔵文化財の拡がり予想される範囲は、周知の埋蔵文化財包蔵地である鶴沼A遺跡と同一の地形を呈するため、当該地を含める形で鶴沼A遺跡の範囲を変更した。変更後の登録面積は、92200㎡である。



図30 鶴沼A遺跡の範囲

**上吉田C遺跡**（会津若松市高野町上高野字村北、同市町北町中沢字中地）

会津縦貫北道路建設予定地内で、分布調査を実施したところ、須恵器・陶磁器・石器を採取した。埋蔵文化財の拡がりが見込まれる範囲は、周知の埋蔵文化財包蔵地である上吉田C遺跡と同一の地形を呈するため、当該地を含める形で上吉田C遺跡の範囲を変更した。変更後の登録面積は、174,200㎡である。

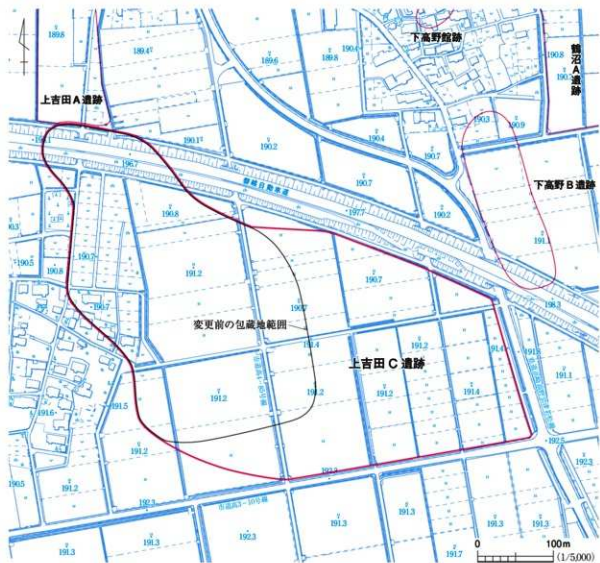


図31 上吉田C遺跡の範囲

引用文献

福島県教育委員会	2002	『福島県内遺跡分布調査報告 8』	福島県文化財調査報告書第385集
福島県教育委員会	2003	『福島県内遺跡分布調査報告 9』	福島県文化財調査報告書第397集
福島県教育委員会	2008	『福島県内遺跡分布調査報告 14』	福島県文化財調査報告書第447集
福島県教育委員会	2010	『福島県内遺跡分布調査報告 17』	福島県文化財調査報告書第477集
福島県教育委員会	2012	『福島県内遺跡分布調査報告 18』	福島県文化財調査報告書第483集
福島県教育委員会	2012	『福島県内遺跡分布調査報告 19』	福島県文化財調査報告書第484集
福島県教育委員会	2013	『福島県内遺跡分布調査報告 20』	福島県文化財調査報告書第494集
福島県教育委員会	2014	『福島県内遺跡分布調査報告 21』	福島県文化財調査報告書第502集
福島県教育委員会	2015	『福島県内遺跡分布調査報告 22』	福島県文化財調査報告書第504集
福島県教育委員会	2016	『福島県内遺跡分布調査報告 23』	福島県文化財調査報告書第512集

# 報告書抄録

ふりがな	ふくしまけんないせきふんぷちようさほうこく24							
書名	福島県内道路分布調査報告24							
シリーズ名	福島県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第521集							
編著者名	福島県教育庁文化財課(編集):小野忠大 公益財団法人福島県文化振興財団:丹治篤嘉 近藤宏幸							
編集機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL.024-521-1111							
発行機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL.024-521-1111							
発行年月日	2017年10月31日							
ふりがな 所収道路名	ふりがな 所在地	コード		北緯*1	東経*1	発掘期間	発掘面積*2 ㎡	発掘原因
		市町村	道路番号					
遺跡名 遺跡大 D T - B 23	福島県伊達市葉山町下小国	07213	00656	37° 45' 57"	140° 35' 22"	20160419-20160425	421.5	試掘・ 確認調査
遺跡名 遺跡小 D T - B 2	福島県伊達市葉山町下小国	07213	00660	37° 45' 59"	140° 35' 16"	20160426	44.0	試掘・ 確認調査
D T - B 23	福島県伊達市葉山町下小国	07213	なし	37° 46' 6"	140° 35' 19"	20160427	10.5	試掘調査
遺跡名 遺跡上ノノ路跡 D T - B 34	福島県伊達市葉山町下小国	07213	00654	37° 46' 12"	140° 35' 13"	20160606-20160609 20160824-20160825 20161011-20161012	96.0	確認調査
D T - B 25	福島県伊達市保原町沢沢、同市保原町所沢	07213	00659	37° 46' 16"	140° 35' 14"	20160607-20160608	11.0	試掘調査
D T - B 29	福島県伊達市保原町土保原	07213	なし	37° 48' 45"	140° 32' 7"	20161125-20161130	224.3	試掘調査
D T - B 30	福島県伊達市保原町土保原	07213	00329	37° 48' 51"	140° 32' 0"	20161025-20161101	315.0	確認調査
D T - B 31	福島県伊達市伏原	07213	なし	37° 49' 2"	140° 31' 44"	20160711-20160803	1146.5	試掘調査
D T - B 33	福島県伊達市伏原	07213	00030	37° 49' 11"	140° 31' 34"	20160831-20160906	296.0	試掘調査
遺跡名 遺跡原原 D T - B 33	福島県伊達市伏原	07213	00032	37° 49' 31"	140° 31' 4"	20161017-20161024	421.0	確認調査
遺跡名 遺跡桑畑 Q R - B 1	福島県伊達市桑畑町坂出	07301	00028	37° 49' 49"	140° 30' 24"	20160519-20160523	15.5	確認調査
遺跡名 遺跡日原田 Q R - B 3	福島県伊達市桑畑町松原	07301	00104	37° 49' 50"	140° 30' 22"	20160524-20160601	48.5	試掘調査
遺跡名 遺跡日原田 Q R - B 3	福島県伊達市桑畑町松原	07301	00107	37° 49' 58"	140° 29' 26"	20160615-20160620 20161109-20161110	321.0	試掘調査
遺跡名 遺跡日原田 Q R - B 4	福島県伊達市桑畑町松原	07301	00106	37° 49' 58"	140° 29' 20"	20160621-20160629	228.0	試掘調査
C G - B 6	福島県南会津郡下郷町南倉沢	07362	なし	37° 12' 7"	139° 55' 11"	20160926-20161005	62.5	試掘調査
特記事項	相所福島道路建設予定地内(伊達市)のD T - B 21 [沼ヶ入道路]について、確認調査を実施したところ、土坑や小穴を確認した。このため、建設予定地内の4000㎡を保存を要する範囲とした。同予定地(伊達市)の上ノノ路跡の確認調査でも、縄文時代の遺物包含層を確認したため、建設予定地内の300㎡を保存を要する範囲とした。同予定地(伊達市)のD T - B 33の試掘調査では、弥生時代や古代の遺構・遺物を確認したため、隣接する寛相原道路に含めた。同予定地(桑畑町)のQ R - B 1の調査では、古代や中世の遺構・遺物を確認したため、新倉道路として新規登録した。同予定地(桑畑町)のQ R - B 3の調査でも、古代の遺構・遺物を確認したため、日原田道路として新規登録した。また、同予定地(桑畑町)のQ R - B 4の調査でも、縄文時代や古代の遺構・遺物を確認したため、沼ヶ入道路として新規登録した。							
要項	福島県教育委員会が平成28年度に実施した、福島県福島道路・南倉沢バイパス建設予定地内の道路及び道路予定地を対象とする試掘・確認調査、並びに会津坂西北道路建設予定地内における歴史文化財の分布調査の報告書である。 97,150㎡を対象とした試掘・確認調査の結果、道路2箇所、道路予定地4箇所の合計面積15,800㎡について保存が必要と判断した(表1-2参照)。また、4件の歴史文化財包蔵地を新規に登録し、3件の歴史文化財包蔵地について包蔵地範囲の変更を行った(表13参照)。							

\*1 経緯度数値は世界測地系(平成14年4月1日から適用)による。 \*2 トレンチ掘削面積を示す。

---

福島県文化財調査報告書第521集

**福島県内遺跡分布調査報告 24**

平成29年10月31日発行

編集・発行 福島県教育委員会

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

印刷 株式会社プロセス印刷

〒960-8003 福島市森合字屋敷下6-1

---

2017